



# みなみいず 議会だより

No.17

2004年(平成16年)4月28日

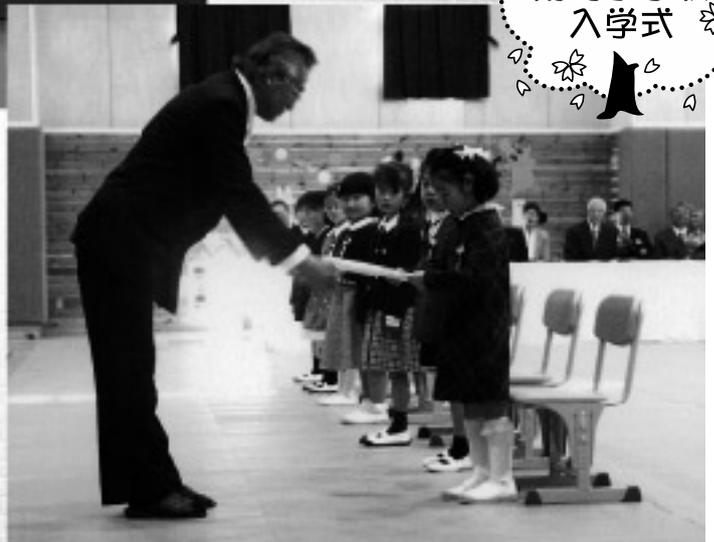
発行 南伊豆町議会  
編集 議会広報編集委員会  
〒415-0392  
静岡県賀茂郡南伊豆町下賀茂328-2  
TEL 0558-62-6240



三浜小学校  
入学式



ぴっかぴっかの  
1年生!



南崎小学校  
入学式

## 主な内容

第1回臨時会、3月定例会 .....	2 ~ 3
行政視察報告 .....	4
一般質問 .....	5 ~ 11
一口メモ、議会の動き、くろ潮 .....	12

### 第1回臨時会 (1月22日招集)

「下田市・河津町・南伊豆町合併協議会の廃止について」の議案が上程され、全会一致で可決されました。平成15年12月19日に解散が決まった下田市・河津町・南伊豆町合併協議会の解散にもとづくものです。

### 平成16年 3月定例会

平成16年南伊豆町議会3月定例会は、3月9日から3月17日まで9日間開かれました。今定例会は、平成16年度各種会計予算など46議案の他、意見書1件、追加議案3件が上程され、審議の結果、意見書を含む48議案が原案通り可決(認定・同意)されましたが、追加上程された、「南伊豆町特別職の常勤の者の給料等の特例に関する条例」は、内容不十分として否決されました。

## 平成16年度 一般会計・特別会計予算概要

(単位:千円)

会計区分	16年度予算	15年度予算	会計区分	16年度予算	15年度予算
一般会計予算	4,925,000	5,210,000	土地取得特別会計予算	2,060	10,311
国民健康保険特別会計予算	1,254,225	1,146,913	公共下水道事業特別会計予算	421,073	441,050
老人保健特別会計予算	1,260,825	1,402,763	子浦漁業集落排水事業特別会計予算	25,646	22,812
介護保険特別会計予算	630,254	636,572	中木漁業集落排水事業特別会計予算	20,159	10,746
南上財産区特別会計予算	1,189	742	妻良漁業集落環境整備事業特別会計予算	209,725	43,588
南崎財産区特別会計予算	132	137			
三坂財産区特別会計予算	8,948	12,739	小計	8,759,236	8,938,373

		16年度	15年度
水道事業会計 予算	水道事業収益(収入)	277,480	281,136
	水道事業費用(支出)	287,077	289,153
	資本的収入(収入)	239,200	286,750
	資本的支出(支出)	343,534	413,778

## 平成15年度 3月補正予算概要

(単位:千円)

	補正前の額	補正額	計	財源内訳	
一般会計 (第7号)	5,789,015	123,691	5,665,324	国県支出金	7,862
				地方債	7,900
				その他	16,691
				一般財源	122,762
国民健康保険特別会計 (第3号)	1,287,509	17,885	1,269,624	国県支出金	27,885
				一般財源	10,000
老人保健特別会計 (第2号)	1,421,648	2,527	1,419,121	一般財源	2,527
三坂財産区特別会計 (第2号)	8,948	339	9,287	一般財源	339
公共下水道事業特別会計 (第3号)	447,326	384	447,710	その他	700
				一般財源	316
介護保険特別会計 (第3号)	641,017	5,455	635,562	国県支出金	17,500
				その他	9,346
				一般財源	21,391
妻良漁業集落環境整備事業特別会計 (第2号)	43,399	676	42,723	その他	676

		既決予定額	補正予定額	計
水道事業会計 (第3号)	(収入)水道事業収益	285,431	1,376	284,055
	(支出)水道事業費用	291,630	8,535	283,095
	(収入)資本的収入	296,074	2,500	298,574
	(支出)資本的支出	422,574	2,000	420,574

# 条例・規約の制定・改正

## 条例

行財政改革にもとづく給与・手当で削減

南伊豆町特別職の常勤の者の給料等に関する条例の一部を改正する条例  
町長720,000円を

648,000円にするもの

助役582,000円を

553,000円にするもの

収入役542,000円を

515,000円にするもの

南伊豆町教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例  
教育長513,000円を

503,000円にするもの

南伊豆町職員の特務手当に関する条例の一部を改正する条例制定について  
特殊勤務手当を

8,000円から5,000円にするもの

南伊豆町立小・中学校及び幼稚園設置条例の一部を改正する条例制定について  
住所を子浦791番地から  
子浦1472番地に改めるもの

静岡県町村職員退職手当組合理約の一部を変更する規約制定について

静岡県市町村非常勤職員公務災害補償組合理約の一部を変更する規約制定について

下田市の公の施設を南伊豆町民の使用に供させることについての協定条件の一部変更について

協定施設に

下田市民スポーツセンターを加えるもの

南伊豆町道路線の認定について  
新たに八声口線、祢宜田線、休石線、久保田線を認定するもの

南伊豆町漁業集落環境整備施設設置・管理条例の一部を改正する条例制定について

妻良漁港区域内公有水面埋立てについて

## 否決

南伊豆町特別職の常勤の者の給料等の特例に関する条例制定について  
町職員の飲酒運転人身自動車事故の監督責

## 同意

任を取り、町長、助役の給与を1/10 3ヶ月減給するというもの。内容不十分として否決

人権擁護委員の候補者の推薦について、次の3氏が議会において同意されました。

長谷川 隆 昭さん(大瀬338)

木下 竹 子さん(湊1148 3)

飯田 信 寛さん(妻良1094 2)

南伊豆町三坂財産区管理委員会委員の選任について、次の7氏が議会において同意されました。

鈴木 元 司さん(一色175 2)

土屋 眞 澄さん(蝶ヶ野236 1)

外岡 章 壽さん(入間154 1)

外岡 捷 美さん(入間897)

山本 清 昇さん(入間926)

高野 清 春さん(中木45)

山口 信 一さん(入間1557)

南伊豆町南崎財産区管理委員会委員の選任について、次の7氏が議会において同意されました。

鈴木 武 治さん(石廊崎66)

鈴木 忠 壽さん(石廊崎62)

平山 重 規さん(下流67)

渡辺 傳太郎さん(下流552)

平山 善 吉さん(下流110)

山本 善 悟さん(大瀬339)

菊池 茂さん(大瀬472)

# 行政視察報告

## イノシシ視察



議会は、一月二十七日(一月三十日(夜行)泊四日)の日程で、『イノシシ対策に関する調査視察』を実施。島根県中山間地域研究センター(赤来町)・広島県倉橋町を訪問してまいりました。バスの全走行距離は約一万七千キロにのぼりました。視察には、農林水産課長も参加しました。

### 島根県中山間地域研究センター

(真施設・赤来町)

井上所長は「中山間地域が、将来にわたって持続可能で維持できるよう、農林業分野だけでなく社会科学的分野を含めて総合的に研究を行っている、全国で初めてできた機関。都市と農村の対立ではなく、相互理解で日本のふるさとを守る

ことに取り組んでいる。首都圏から近い伊豆の自治体で、都市と農村の交流が成功することは、自分たちのみならず全国の田舎の励みになると確信しています。」と歓迎の挨拶をされました。

島根県中山間地域研究センターのパンフレット表紙には、『生命地域宣言』中山間地域は、わたしたちの生命地域です。

20世紀は、都市の世紀でした。

多くの人々が、自然豊かな緑の大地を離れ、日々暮らすようになりました。

しかし、生命を育む地域のことを忘れた文明は、行き詰まるうとしています。

21世紀、「奪つ」暮らしから「育てる」暮らしへ。中山間地域へ、そして中山間地域から、新しい生き方を始めてみませんか。

新しい地域をつくりませんか。今ここに、環境の世紀における先進空間として、中山間地域の再生を宣言します。

とうたわれています。

小寺祐二博士「イノシシの生態と被害対策」

小寺博士は、イノシシが一定の区域に二〜三週間から半年滞在し、一日の移動距離は多い時でメスが約九オスが十数あり、約10haの区域の中で移動と定住を繰り返していると、研究結果を明らかにしました。

小寺博士は、被害対策の概念としては、有害駆除人間領域の撤退 柵による隔絶の三点が基本であるとしたうえで、箱なわの使用などでも完全駆除は難しく、電気柵とトタン・ネットなどを組み合わせた進入防止柵をしっかりと設置することで効果を上げている事例を紹介しました。

また、イノシシを里に出さない対策として、森林の中に一定期間餌付けをするフラスの事例も一定の効果があることを紹介しました。



島根県中山間地域研究センター

### 広島県倉橋町

「倉橋イノシシ 食肉処理センター」

広島市倉橋町は昨年五月に「倉橋イノシシ食肉処理センター」をオープン。管理・運営は町が100%出資する倉橋町づくり公社に委託、公社が運営する町内二つレストランで精肉の他イノシシ料理を開発、観光客に提供しています。

視察終了後、昼食にイノシシチキョーをいただきましたが、臭みなどもなくおいしかったです。

食肉処理施設での平成十五年処理頭数は、視察時までで約九十頭。公社職員で運転手が解体処理免許を持ち兼務しています。

### イノシシ箱檻設置

計百十八基(購入費半額補助四・五万円程度) 狩猟免許試験町内実施で免許取得者一気に百名

それまでイノシシがいなかった倉橋町でイノシシが捕獲されたのは平成二年。平成三年から困いわなを整備し始め、平成十三年度に



倉橋イノシシ食肉処理センター

は新規に箱檻を八十二基(七百三十九万円)整備、その効果により、イノシシ捕獲頭数は平成十四年度九百三十頭を数えました。

倉橋町は、人口七千七百人、三千三百世帯中、農家戸数六百二十八戸、内専業二百二十七戸。温暖な瀬戸内気候のもと、農産物はかんきつ類を始め大根や野菜などを出荷する農業が盛んな瀬戸内の小さな島です。

財政力指数は、南伊豆町より小さい二二・九%ですが、箱檻を八十二基一気に設置した年の有害鳥獣駆除事業全体の執行額(決算)は、一、八百十五万円。捕獲の成果が上がリ、今年度は昨年度より捕獲数は減少する見込みだそうです。

箱檻を一気に設置するうえで、狩猟免許試験を町内で実施、免許取得者を確保したことが成功しています。

## ●一般質問

# 町長に聞きました



漆田 修 議員

### 計算センター解散の対応

漆田 昨年十月三十日広域行政計算センター運営協議会の場で、解散の話がされた。西豆三町村と東伊豆町は単独利用の途が選択されている。残された三市町の中、河津町も独自利用を考えた結果と慮され、正式には十一月十七日下田市を除く町村長連名で其の意向を管理者へ通告した。日々の行政事務電算化は、重要なものであり二週間余で意

思決定した理由と今後の町の対応はいかがか?

町長 この時点は西豆合併協議会はその場にあり、十月三十日の話し合いは全部が解散というわけではない。河津が抜ける話は無かった。その中で申入書に押印したので誤解の無い様に!!

企画課長 利用態様は独自と二市町で二つの選択肢



がある。コスト面・安全性から現施設の利用が最適と考えられ、詳細の費用は試算してある。センター規模の適正化を考え現負担金より少し多いくらいである。

漆田 IT基本法の特典も課長答弁の中で追認され、短期・中期の対応を望む。

## 議会&

### 行政行事のビデオ化

漆田 議会や行政行事をCATVに流すことを提案したいが全町のネットワーク化は現実無理の為、ライブラリーの図書配本システムに運動させる考えはないか?

町長 議会は下賀茂CATVが入っていて組合員は必要と考えられている。ライブラリー化は様々な問題があり現時点では無理である。

漆田 住民ニーズは高く、動く南伊豆町誌の側面もあるので検討賜りたい。



### 自治体経営の自律改革

漆田 痛みを分かち合い自治体の行財政改革と住民

自治を充実し行政サービスの最低限を保障する という町長の基本理念は理解するが、具体的にはいかがか?

町長 財政の右肩上がりの方向転換、公共投資の生活密着型採用等、職員の残業カットや管理手当減給、町四役の報酬一割カットなど決断し経費削減に努めた。

漆田 それは評価する。自治体経営改革の手法として入札制度改革や職員の勤務評定や行政評価と、PBについて町長の認識は?

町長 精神論者の為職員勤務評定は考えていない。行政評価とPBは認識不足だが、限られた財政枠内でやらざるを得ない。

助役 今現実に公開入札制度を採用する事は無理で今後検討する材料と考える。

漆田 自助努力の無い財政試算は納得できない。自治体経営総資本を圧縮して自主財源率をあげる等自律改革に努めて頂きたい。

### 観光活性化

梅本 「花と町内めぐりバスツアー」事業の結果と来年度の対応について。

商工観光課長 参加者は八名で、満足して帰った。

町長 バスの台数を増やすことは前向きに検討する。

梅本 青野川八ヶ釣り大会を開催する考えはないか。

商工観光課長 親しみやすい青野川とするため、イベントとして八ヶ釣り大会を検討している。事業予算は賞品代程度を考えている。

梅本 三〇万円程度の予算で町内宿泊者が増えること

が予測できるのであれば予算化をすべきである。

町長 事務方と検討する。

梅本 塩尻市と当町の旅館ホテル、民宿等の宿泊施設を両市町民の保養所とする考えはないか。

商工観光課長 塩尻市は二千人を補助している。一四年度の利用者は約二千人程度である。当町は、他の方法による交流を考えたい。

梅本 わくわく湯の里会の湯けむりガイド案内板設置への当局の助成を評価し、今後これらの活動へ助成をお願いする。

### 梅本和熙議員

### ウェルネスの町づくり

梅本 ウェルネスとは健康を意味します。富士山ろくファルマバレー構想とウェルネスの町づくりを連携させる考えは。ちなみにファルマとは薬を意味します。

町長 ファルマバレー構想に南伊豆町をどのように位置づけるかということで県の担当者が来庁した。意見の交換をし、厚生省跡地がその情報発信基地としての役割を担えるかどうか、現地案内をした。全国的な健康志向、長寿社会の到来の中、健康と観光を結んだ町づくりが可能かどうか検討している。



### 構造改革特区構想等

梅本 経済活性化のために、規制改革を行い民間活力を最大限に引き出し、民業を拡大し、地域においては自助と自立の精神をもって知恵と工夫の競争を行い、地域の特性に合った特区構想を立案することが期待されているが考えをお聞かせ願いたい。まず、温泉療養に国民健康保険の適用ができる特区構想。

住民課長 温泉の効能は実証されており、研究したい。

梅本 住所地特例のあるグループホーム特区構想。

健康福祉課長 住所地特例のあるグループホームの建設は町の負担がなく、雇用の確保等経済効果がある。

梅本 県の検討をまたずに町で積極的に特区申請をするべきである。以上のほかに農業特区、幼保一元化特区、路線バス代用の輸送特区

区構想等を質問した。



### 島根県中山間地域研究センターに学び地域振興

横嶋 イノシシ対策で視察に行った島根県中山間地域研究センターは『生命地域宣言』で、中山間地域再生宣言をつたっている。県行政センターは『南伊豆に暮

らす』パンフ発行・定住促進イベントを行ったが、定住促進条例の制定、首都圏にアンテナショップを置くなど農業振興計画を持ち、産業振興を図るべき。

### 横嶋隆二議員

町長 県、関係市町村各種団体を入れて本格的に取組まなければ難しいと思う。

企画課長 住民の生活も容易でない。今後検討する。

農林水産課長 平成十二年に農業経営基盤強化構想を策定し取組んでいる。

横嶋 島根は県が中山間地域活性化計画・定住財団を作っており、センターがある赤来町が定住条例を持っている。パンフを打った責任からも、相談窓口としても是非考えるべき。

### 高校教育を守る取り組み

横嶋 今高校入試環境は、子どもの減少以上の定数減、隣接学区からの流入で、受験生・保護者に衝撃が起きている。高校教育環境、松崎へのバス便の対応は。

教育長 私学もなく選択の幅が限られ厳しい。今まで学級数の発表後に要望活動を行ったことを反省している。これから学級数が決まる段階で要望を生かす方策をと考えている。PTAなどから松高へ路線バス要望が出ている。なんとしても路線を再開させたい。

町長 要請された高校への要望は町村会として出した。

企画課長 下賀茂から雲見までを想定して検討する。

### 合併問題

横嶋 今行われている懇談

町長 基金も底をつき大変だ。一人では大変だが二人では暮らせる。

横嶋 合併は結婚とは違つ。下田の経常収支比率は八九・一%首が回らない状態だ。合併は財政問題を先延ばし責任転嫁するもの。助役収入役を削減し努力すべき。

町長 議員と根本的に違つ。南伊豆町の人間性は利己主義と封建制がある。

横嶋 今の言葉をそのまま町長に返す。町民の痛みを理解していない。親族の田に税でハスを植え、七百万円もの工事を随契など、利己主義を生み助長しているのは町長だ。町長失格だ。

島根県中山間地域研究センター





保坂好明議員

### 平成十六年度 当初予算

保坂 小泉内閣の三位一体改革による厳しい中、予算編成に留意した点は？

町長 厳しい状況だが健康福祉センターは建設したい。

保坂 この予算は現状維持だけで、町の将来像が見えにくい、町税の減収が編成を困難にしている状況から、税収を上げる為の予算はどこに盛り込まれているか？

町長 産業を起こす事は常に考えている。町民サイドから物事を見る姿勢は失っていない。

### まちづくりの 課題

保坂 町長の平成十三年度施政方針で一地区一品運動を述べている。私は南伊豆マイスター制度を創設し、地域の知恵や技術や伝統を次世代に伝える事や、ここに暮らす人々の生活が充実する地産地消と本町の一次産業とその産業生産に絡めた定住化促進、共立湊病院と宿泊業との連携や共生を提案する。

町長 環境と病院が一体化するなら面白い。将来性が浮ぶ。

保坂 地域には自然や歴史・文化が多くあり、これをブランド化するのが問題。薬用試験場跡地利用計画の策



定プロセスは？

企画課長 過去にまとめた構想を基礎として、行政サイドの考えでなく、実践している人達を委員として策定委員会を実施したい。



### 行財政改革

保坂 町長は合併推進の理由に、

少子高齢化・過疎化による人口減少

基幹産業である観光の低迷等による自主財源の影響懸念

補助金・交付金等の減少を掲げていたが、合併が白紙となった現在、これは町単独で対処しなければならぬが、どの様に舵取るのか？ 役所内のスリム化・合理化・大幅な機構改革を推進する中で、スクラッチ制を設け、庁内の風通しや連携を強化する。行政が運営している事業を入札して民間に委託する等、色々な政策があるのでは？

町長 周りの町村を見ると努力しているが、本町の方性がはつきりしない中、役場の運営、職員の資質向上、意識改革は難しい。役場の定期人事もやらなければと思ったが、事務方のすり合せ等があり見送った。



保坂 町長は一万人も住民が乗っている南伊豆丸の船長！ 船長は航海予定を乗客に説明する責任がある。合併は一つの手段であり目的ではないはず。合併という霧に迷う事なく、どこに向き安全に航海するのかわかりやすくしてほしい。



清水清一議員

### 三市町合併について

清水 十二月に合併協議会が解散した。町長は政治生命をかけて努力したが、合併協議の解散は町民に対して謝罪すべきと考える。

町長 謝るつもりは毛頭ない。私なりに努力した。

清水 町単独に現在なっている。これからの南伊豆町の方向性を示してほしい。

町長 方向性を発表しろでなく、皆様が自分で資料を集めて、その中でやってもらいたい。

清水 町民、議員、あなたたちが勝手に考えなさいと町長は言われたけれども、

これでは、町長が仕事を放り投げていると感ずるが。

町長 行財政改革、住民サービスの低下を防ぐのが私の考えの基本です。まだ時間がほしい。

清水 南伊豆の姿、方向性をまだ考えていない、時間がほしいと町長は言っているが、もう一度答弁を。

議長 町長、方向性を。

町長 行財政改革、協働参加の構築で町民の理解を得られればと考える。お互い知恵を出し合い将来を考えてほしい。



清水 いろいろ知恵を出してほしいと言われたが、考えがないから知恵を出してほしいと、私にはとれる。

合併地区懇談会で南伊豆町はこう主張した。町民のことを考え主張したとこの地区懇談の中で話してほしい。

町長 町民の方々は理解していると、考えている。

清水 町単独の時の、コミュニケーションした数字も必要と考えるが。

町長 地区懇は、町民に判断をお願いするといふより、一つのあり方だと思っている。町単独のコミュニケーションは作らなくても町民は理解できると考えている。



地区懇談会

清水 これまでと同じ行政をした時の場合と、行財政改革をした時の数字も必要だ。

町長 町民の方々に行政改革ということ痛みはあるわけで、穏やかな行政改革ということを私はすべきだと考える。

### 国・県との 関係強化

清水 町長は平成十五年度に県庁へ各事業の陳情に何回行ったのか。

町長 把握していない。一月から全部が一回、情報交換が二回だ。これからは積極的に行く様に努力する。

清水 ジャングルパークの岩崎産業に町長が交渉に当たった事はあるのか。

町長 助役と課長が交渉し、まだ行く時期ではない。

清水 町長が陳情、交渉に当たってほしい。又、町長が手本を見せて職員教育をしてほしい。



## 議会の動き

- 2月2日 民生委員推薦会
- 2月2日 賀茂郡議長会
- 2月5日 みなみの桜と菜の花まつりオープニング
- 2月8日 菜の花結婚式
- 2月13日 青野大師ダム定礎式
- 2月15日 青野川さくらマラソン
- 2月18日 都市計画審議会
- 2月19日 財政行政懇談会
- 2月20日 南伊豆町自然ふれあいパーク整備検討委員会
- 2月20日 例月出納監査
- 2月24日 共立湊病院組合2月定例会
- 2月25日 下田地区消防組合議会2月定例会
- 2月25日 伊豆つくし学園組合議会2月定例会
- 2月26日 あしたば作業所竣工式
- 2月26日 南豆衛生プラント組合議会2月定例会
- 2月27日 全員協議会
- 2月27日 賀茂地区交通災害共済組合定例議会

- 3月1日 郵政町づくり協議会
- 3月1日 南伊豆分校卒業式
- 3月2日 議会運営委員会
- 3月2日 合併推進委員会
- 3月3日 三浜小学校竣工式
- 3月4日 図書館協議会
- 3月9日～17日 3月定例町議会
- 3月14日 杉並区立南伊豆健康学園卒園式
- 3月18日 賀茂郡議長会
- 3月19日 例月出納監査
- 3月26日 妻良漁港浮桟橋竣工式
- 3月26日 共立湊病院建設検討委員会
- 3月29日 全員協議会
- 3月30日 南豆衛生プラント組合専用道路開通式
- 3月31日 社会福祉協議会評議委員会

- 4月1日 南伊豆町消防団入団式
- 4月5日 共立湊病院関係会合
- 4月7日 広報編集委員会
- 4月9日 全員協議会
- 4月15日 議会運営委員会
- 4月16日 広報編集委員会
- 4月16日 例月出納監査
- 4月21日 広報編集委員会
- 4月27日 老人福祉大会
- 4月27日 伊豆ナンバー創設促進協議会総会

## 議会事務局人事異動



建設課 主任主事  
勝田 智史

議会事務局から建設課に異動になりました。よろしくお願ひします。



議会事務局 係長  
栗田 忠蔵

住民課から議会事務局に異動になりました。よろしくお願ひします。

## 議会一口メモ

### 構造改革特区

平成十四年十二月十一日、「構造改革特別区域法」が成立。

目的 公正な競争確保や安全などの観点から、私たちの生活は、さまざまな法律などによって規制されているが、その中には、社会の変化に合わなくなっているものも少なくない。このような規制について、地方公共団体や民間企業などから見直しの提案を受け

て、地域の特性を生かしながら、その地域の中で緩和していく試みが「構造改革特別区域制度」いわゆる「特区」である。

「特区」は、地域の活性化につながる他、うまくいった事例については、全国に広げられ、全国的な規制緩和・経済活性化につながる。ということが期待されている。

制度の仕組上のポイントは 特区において規制緩和が可能な規制は、幅広くリストとして明示 手続き、決定プロセスの一元化である。



このところ、全員協議会が頻りに開催されている。これは法的な根拠のない事実上の会議で、議長の招集で開かれる。

### 本会議関連

#### 自主的意見調整

町村長が意見を聞くの三つの型に分類され、特に の事前審議型の協議会は議会の権威や町村長の責任体制の否定にもつながりかねないため、町村行政上の重要問題については協議等で検討しなくては必要最小限にとどめることが肝要といわれています。今、問題の石廊崎跡地、厚生省試験場跡地など重要問題があるが、正式議事録もないため、議論の内容も議会だよりに掲載できない。今後情報開示に一考を要すと思う今日この頃です。

(お)